

【2022年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
ソーシャルワーク実習 a		選択	1	2	冬春季(集中)	
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe		水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要		<p><目的> 社会福祉士に求められる専門職としての姿勢を養うことを目的とする。そのために、ソーシャルワーク実習に向けて実習施設・機関や地域社会等の基本理解、ソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術、個人のプライバシーの保護と守秘義務等、さらに実習記録への記録内容及び記録方法、実習計画の作成方法について学ぶ。</p> <p><概要> 本講義では、ソーシャルワークの価値に基づき現場実習を想定した実践的な学びを行う。そのため、受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を繰り返し活用し理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	社会福祉士国家試験科目とは考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。					
教科書	最新 社会福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[社会専門]/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版					
参考書	必要に応じて資料を配布する。					
外部教材	特になし。					

学生が達成すべき行動目標

関連卒業認定・学位授与方針

- | | | |
|---|---|--------------|
| ① | 社会福祉士としての価値と倫理に基づき、ソーシャルワーク実践に必要な知識と技術を統合し、支援するための実践能力を身につける。 | HSU(1)、WP(1) |
| ② | 支援を必要とする人や地域の状況を把握し、生活上の課題(ニーズ)を考える方法を理解し説明できる。 | HSU(1)、WP(2) |
| ③ | 地域社会の中で施設・機関等が果たす役割を理解する方法を理解し説明できる。 | HSU(1)、WP(3) |
| ④ | 自己覚知を深める。 | HSU(6)、WP(4) |
| ⑤ | | |
| ⑥ | | |

授業計画

- 厚生労働大臣が定める実習施設および事業所において、8日間かつ60時間以上の実習を行う。
- ソーシャルワーク実習を通して、相談援助にかかる専門的な価値、知識、技術を具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術等を体得する。
- 実習前教育、実習中教育、実習後教育という継続的かつ一体的な指導を受ける。特に、実習中は、実習指導者による指導、そして、担当教員による巡回指導および帰校日指導を受け、実習での取り組みを振り返り、考察しながら、学びを深める。
- 実習記録(実習日誌、実習報告書)を作成し、提出する。

[実習指導者による指導内容]

実習では、実習生は次に掲げる事項について実習指導者による指導を受ける。

- (1)利用者やその関係者(家族・親族、友人等)、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成
- (2)利用者やその関係者(家族・親族、友人等)との援助関係の形成
- (3)利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)の把握、支援計画の作成と実施及び評価
- (4)利用者やその関係者(家族・親族、友人等)への権利擁護活動とその評価
- (5)当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ

実習記録(実習日誌)を毎日作成し、翌朝実習指導者に提出する。

必要時間(単位:時間): 60

【2022年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

達成度評価											
総合評価割合 (%)	試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計					
	0	0	0	0	100	100					
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	20	20					
	思考・推論・創造する力	0	0	0	10	10					
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	10	10					
	発表・表現伝達する力	0	0	0	10	10					
	コミュニケーション力	0	0	0	20	20					
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	20	20					
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	10					
評価のポイント					フィードバックの方法						
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点									
試験	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
レポート	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
成果発表	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
ポートフォリオ	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
その他	① ✓	実習での取り組みを振り返り、考察し、実習日誌に記載した内容を評価する。また、実習の取り組み状況および成果等について評価する。			個別にフィードバックを行う。						
	② ✓										
	③ ✓										
	④ ✓										
	⑤										
	⑥										
備 考											
他 担 当 教 員	田村 正人										
教員の実務経験	渡邊隆文：社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。 田村正人：社会福祉士取得後 10 年の実務経験を有する。										
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的な事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。										
そ の 他	社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 学外実習を実施するが、大学が公表している感染対策及び教員が示す方法を遵守すること。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。										